

公共交通機関の利用促進

公共交通教室

■公共交通教室及び公共交通マナーアップ
キャンペーン

【継続】交通政策部

公共交通を利用しやすい環境づくりには、交通事業者の努力のみならず、利用者意識の向上と協力が必要です。

乗降車体験、ICカード使用体験、運賃学習、車内マナー、環境問題等を学ぶ「公共交通教室」の開催や、公共交通の「心地よい空間づくり」を目指してJR駅前や港等で「公共交通マナーアップキャンペーン」を行い、過度に依存している自家用車から公共交通への利用促進を図ります。

【27年度実績】

広島県、岡山県及び山口県では、イベント会場や小学校等の出前講座によって、公共交通教室を41回実施しました。

交通事業者と行政が、公共交通機関におけるマナーアップの啓発活動として、「マナーアップさわやか運動」を、JR広島駅、JR鳥取駅、一畑電鉄松江しんじ湖温泉駅など10カ所でマナーアップの声かけやグッズの配布を行いました。なお、JR岡山駅において初めて、運動を実施しました。



【マナーアップ声かけ】

【27年度実績に対する評価】

公共交通の利用経験がない小学生が増えている中で、「公共交通教室」を実施し、公共交通の役割や大切さを学ぶことにより、公共交通に対する興味や親しみをもち、利用のきっかけ作りとなっています。また、免許保有率が高くなっている高齢者を対象にした同教室を増やすことにより、車内転倒事故防止とあわせて公共交通への利用転換の契機につなげていく必要があります。

公共交通マナーアップを、JR駅での鉄道利用者を対象とした取組みだけでなく、他の公共交通機関のモードにおいても取り組む必要を感じました。

【28年度施策】

公共交通の役割や大切さを学ぶことにより、公共交通に対する興味や親しみをもち、利用の習慣化を形成できるように、公共交通事業者や自治体と連携して「公共交通教室」を開催するとともに、公共交通は大勢が利用する場所なので、公共交通の「心地よい空間づくり」を目指して「公共交通マナーアップキャンペーン」を実施し、公共交通の利用促進を図っていきます。

平成29年度には、中国5県ですべての公共交通機関のモードで「一斉公共交通マナーアップキャンペーン」が実施できるように準備します。